



富沢さんの長ネギ



長ネギは土をかぶせるほど長く育つのですが、同時に追肥をします。その際、富沢さんは「肥料が多すぎるくらいなら手間をかけてでも半分にして2回にする方が良いんだよ」と言います。とにかく手間を惜しまないのが栽培のポイントなんです。



数年に1回は完全に腐食になった堆肥を入れ、また牧草で土を整え、ミネラルや有機質肥料を使いながら元気に育つ環境を整えています。

★手間と技術で作られる9月の長ネギ

おかげさま農場周辺の土質は火山灰土で軽く水はけが良いため、サツマイモなどに適していると言われています。一方で、ある程度の水分が必要で土寄せも必要な長ネギは育てにくい土質と言われています。また最近の千葉県の夏は前半が干ばつ気味で水不足、お盆明けには長雨で蒸れてトロけたりと長ネギには過酷な環境です。

おかげさま農場のメンバーからも「あの品質は富沢さんじゃないと作れないよ」と言わしめるほど技術力に定評がある富沢さんも、「もちろん技術も大切だけど、限界もある。やっぱり作物は土が作るんだよ。そして水が使える畑でないと難しいよ」と言います。長ネギは種まきから出荷まで約1年の時間がかかりますが、その間ずっと手間をかける必要があります。例えば「2月から出荷までずっと水撒きが必要」と言います。さらに梅雨明け後は病害虫が一番発生する時期で、葉っぱを食べる虫や病原菌が寄ってくるので、忌避剤として木酢液や竹酢液などをかけたり手間をかけ続けます。「市場は産地リレーで南から今は北に移っているでしょ。この辺は大体10月から出荷開始が普通で8~9月というのは一番大変で手間をかけないと作れないんだよ」

約1年の間、とにかくこまめに追肥や水やりや防除などの手間をかけ続けた結果、今年も長ネギがお届けできています。富沢さんの長ネギ、有難く、そして美味しく頂きましょうね。

おかげさま農場は「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

【産地情報】

◎今年の長ネギは9月、11月、1月と奇数月は出荷になりますが、10月、12月、2月と偶数月はお休みとなります。予めご理解を頂けますよう宜しくお願いいたします。